

平成28年度第2回旭市総合教育会議 会議録

1 期 日 平成29年1月17日(火) 開会 午後 3時00分
閉会 午後 4時32分

2 場 所 旭市役所海上支所3階会議室

3 出席者 明智 忠直(市長)
八木 雅之(委員長)
加藤 尚美(委員長職務代理者)
石毛 丈康(委員)
鏑木 俊一(委員)
多田 哲雄(教育長)

4 開 会

・多田庶務課副課長

定刻となりましたので、平成28年度第2回旭市総合教育会議を開催いたします。本日の会議の終了予定時間は、午後4時30分を予定しております。円滑な進行にご協力をお願い申し上げます。はじめに、開会にあたり明智市長よりご挨拶を申し上げます。

5 市長あいさつ

・明智市長

平成29年、明けましておめでとうございます。一昨年から教育大綱策定にあたりまして総合教育会議を3回開催し、皆様方にご協力をいただきまして出来上がったわけでございます。内容としましては、市長の思いを含めていただきながら策定し、基本的には5つの重点目標を掲げたものとなりました。

色々と教育改革が叫ばれている中で、千葉日報等にも総合教育会議の必要性・重要性が掲載されておりました。これからも大綱に則り教育政策を進めていきたいと思っているところでございます。

教育委員の皆様方には、教育に関する色々な面でご指導をいただきまして、旭市の教育も円滑にスムーズに進んでいると感じているところです。大綱にもありますが、私の思いとしましては、郷土愛を小さい時から身につけてもらいたいと思っております。先日の成人式でも家族への感謝、ふるさとへの感謝を意見発表の中で取り上げておりました。子どもたちにもしっかりと教育の中で郷土愛を感

じ取り、人口減少の社会の中で生き残るための一つの大きな力になるのではないかと思います。教育大綱の策定には色々な面からお力をいただいた訳でありますので、これからも地域の教育、旭市のまちづくりにご支援をいただきますことをお願い申し上げまして、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。

・多田庶務課副課長

それでは次に議題に入ります。

旭市総合教育会議運営要綱第3条第1項により、これより議事の進行を明智市長にお願いいたします。

6 議題 ①旭市の教育に関する大綱の重点目標「(3) 豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある人を育みます」について

・明智市長

それでは、ここからは、私の方で進めてまいりますので、よろしくご協力いただきたいと思っております。

本日の議題は、前回の会議で「旭市の教育に関する大綱」の重点目標5項目のうち(1)、(2)の2項目について話し合いをしていただきましたので、本日は(3)、(4)についての意見交換、また、実際の現場にどのように浸透させていくのかを含めて議論いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、1番目の「豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある人を育みます」について、事務局より説明をお願いします。

・石見学校教育課長

それでは、議題1につきまして学校教育課から説明させていただきます。資料1をご覧ください。

学校教育課では、旭市学校教育指導の指針を示しまして、小・中学校での教育活動の充実について指導しているところであります。その中で重点目標の一つとして議題1に関係します『思いやりのある豊かな心』を育むを示しております。中身は、道徳教育、特別活動、生徒指導、人権教育を柱としまして、小中学校において取り組むことと教育委員会として行うことを記載しております。

3ページをご覧ください。道徳教育についての資料となります。道徳は、平成30年度から「特別の教科 道徳」となります。指導時間はこれまでと変わりませんが、子どものよさを多面的、継続的に把握し、評価していくことが新たに加わりました。これまでの道徳との大きな違いは、「読む」道徳から、「考え、議論する」道徳となることとあります。従って、これまで以上に教師側の力量が必要となってくるということとございます。このことから教育委員会では、小・中学校道徳教育研修会を開催しまして、授業参観や協議を通じて、道徳の指導力向上を図っております。

続いて、4ページをご覧ください。ここでは特別活動の充実について説明いたします。1点目は「スポーツこころのプロジェクト笑顔の教室」についてですが、この事業は、日本のスポーツ界が一丸となって東日本大震災で被災した「すべての」子供たちの「こころの回復」を応援するためのプロジェクトであります。公益財団法人日本体育協会をはじめとする4つの団体の主催事業でありまして、対象は震災で被災した地域の小中学校ですけれども、千葉県では旭市のみが対象となっております。一流のスポーツ選手が「夢先生」となって、子どもたちが学ぶ教室を訪れ、前半は「ゲームの時間」、後半は「トークの時間」を設けて「夢先生」からのメッセージを届けています。このメッセージの中から、子どもたちが困難を乗り越えるために必要な自分の力や可能性を感じ取ることを目的としております。

2点目は豊かな人間関係づくり実践プログラム、通称「ピアサポート」と呼ばれているものであります。現在、核家族化や少子化など社会状況が大きく変化する中で子どもたちが豊かな人間関係を築く力を日常生活で自然に身につけることが以前に比べて難しくなっていると指摘されております。このことを踏まえまして、このプログラムは千葉県教育委員会が作成したものであります。小学校1年生から中学校3年生までの9年間でテーマが決まっております、1年間で4時間実施することとなっております。日常生活の中での一場面を切り取り、その時の対応の仕方を色々な角度から考えて実際にやってみることをコンセプトに作成されております。例えば給食の盛り付けのときに人気のおかずが出たため、みんなもっと増やして欲しいと思っている場面では、どう反応するかということで、渡されたお皿を黙って受け取り席に着くとか、お皿を黙って給食当番に差し出すとか、もっと増やしてと直接言うとか、お皿を見て少ないなと給食当番に聞こえるようにつぶやくとか色々な反応が8種類くらい用意されております。どうすることが上手な自己主張になるのか子どもたちが学べるようになっております。このような授業内容によりまして、普段あまり発言したがらない子どもも思ったことを言えるので、少しずつコミュニケーションスキルが身に付くことができるのが特徴であります。以上です。

・高木生涯学習課長

それでは、議題1につきまして生涯学習課から説明させていただきます。資料2をご覧くださいと思います。

初めに2ページになりますが、家庭教育学級の充実であります。これにつきましては、小・中学校の1学年の保護者を対象に各学校ごとに家庭教育学級を開催しているものであります。親子での行事でもありましてコミュニケーションの充実が図られているものと考えております。また、家庭教育学級合同学習会としまして年2回子育てに関連する講演会等を開催しているところであります。

次に3ページをご覧ください。3歳児わくわく子育て学級であります、3歳

児の保護者を対象としまして子育て学級を開催するほか親子での行事や遠足を行うなど年間8回程度開催し、親同士の交流も含めて初めての子育ての不安が解消できるように努めているところであります。

次に4ページをご覧ください。青少年活動の推進であります。茅野市との交流事業や通学合宿を行っておりまして、茅野市では県外、通学合宿では他の学校の生徒たちと様々な体験活動を通じて、豊かな人間性や社会性が養われるものと考えております。また、パークゴルフ大会では、青少年相談員活動の一環として子ども会との共催により実施をしているところです。社会性を育むため青少年相談員と一緒にプレーをして子どもたちとの人間関係が構築できるように期待をしているところであります。

次に5ページをご覧ください。地域子ども教室であります。社会教育指導員や家庭教育指導員によりまして全15小学校でキーホルダー作りなどのものづくりを体験し、豊かな人間性や社会性が育まれることを期待しているところであります。

次に6ページをお願いします。子ども育成会連絡協議会活動の促進であります。子ども会と青少年相談員が子どもたちの健全な育成にかかわり、デイキャンプや親子地曳網体験などを実施するものでありまして、これらの活動を支援していくことで子どもたちが豊かな人間性や社会性を身につけていくものと考えております。また、幼児を対象にしました図書館での絵本の読み聞かせを月2回実施しております。更にブックスタート事業は平成25年度から開始した事業でありまして、関係各課と連携を図り、新生児と保護者を対象に赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さを伝えながら絵本を手渡し、親子のふれあいのきっかけを作るために実施しております。家庭での子育て環境が整えられるものと期待しております。以上です。

・明智市長

事務局からの説明は終わりました。このことについて、何かご質問等ございましたらお願いします。

・八木委員長

資料1の1ページに道徳教育研修会の充実とありますが、対象教諭について年間何回くらい開催していますか。また、旭3Sとの連携ですが、限られた学校しか実施していないことについてどう考えていますか。それから2ページの小中連携ですが、一中学区の中、富浦小、矢指小の小中連絡会は具体的に動いていることを聞いていますが、他の学校はどのような状況なのか教えてもらいたい。次に3ページの小・中学校道徳教育研修会ですが、学校訪問日と同日になっていますがどのように開催していますか。それから4ページの「スポーツこころのプロジェクト」ですが、今年度の実施小学校が12校となっております。

ますが、後の3校はどうなっていますか。また、実施した学校においては子どもたちに感想文などを書かせているのか教えてください。

- ・石見学校教育課長

担当より回答させていただきます。

- ・伊藤学校教育課指導班主査

道徳教育研修会につきましては、対象については年度によって色々と変えているところですが、本年度はより多くの先生方に授業を見ていただくということで特に限定せず各校1名以上でお願いしております。本年度の第1回は20名の参加、第2回につきましては21名が参加予定となっております、この2回を授業参観と協議という形で計画しております。また、小・中学校道徳教育研修会が学校訪問日と同日になっていることについてですが、あえて訪問日と重ねて実施することで色々とメリットがあるのではないかとということで実施しました。しかし、第一回の飯岡中学校の実施を終えた反省点として、学校訪問の参加者に加えて20名の参加者があるということは学校の負担も大きいということで、次年度については検討が必要であると考えております。

- ・橋村学校教育課指導班主幹

旭3Sとの連携ですが、色々なところに啓発活動はしているところですが、なかなか参加校が増えていない現状であります。総合的な学習の時間が参加しやすいと考えておりますが、強制的にすることもできないのでなかなかうまくいかない状況であります。また、小中連携についてですが、一中学区は非常に先駆けてやっけていただいている事は事実であります。しかし、その他の中学校区におきましても連携は行っております。例えば干潟中学校区では、朝のあいさつ運動などを小中連携で実施したり、その他の中学校区でも夏休みに集まって分科会での話し合いをしたりしております。もう一点の「スポーツこころのプロジェクト」ですが、感想文については書かせておりません。ただし、最後に手紙のようなものを書いて「夢先生」に送り「夢先生」の方からお答えが来る形を取っております。

- ・仲條学校教育課副課長

「スポーツこころのプロジェクト」において小学校15校のうち3校だけ実施されていない理由ですが、プロジェクトの予算の都合によりまして15校申し込みはありましたが、先着順で選定され3校が残念ながら実施できませんでした。

- ・明智市長

他にご質問がないようですので、意見交換を行いたいと思います。ただ今の議題につきまして、委員の皆様の思い・考えを順番に聞かせていただきたいと思います。

思います。

・八木委員長

私は、旭3Sの運営をやっております。本日、新聞記事を持ってきましたが、矢指、富浦小の子どもたちの海岸清掃、旭農高の生徒が復興住宅に新米を届けたことなどが紹介されております。このように旭市内の小・中・高校生が、社会的貢献活動に参加をしております。そして、旭3Sではこれらの活動を積極的に展開するため助成金を提供しているのですが、年々活動費が増加しております。助成金として子どもたちに還元した残りで事務局を運営しているのですが、事務局費が厳しい状況になってきたところで今年度市の補助金がもらえることとなりました。これでかなりの程度、助成金を子どもたちに還元できる体制が整いましたので、市の方でも旭3SのPRを強化していただければと思います。このように子どもたちの「思いやりのある豊かな心」の一端を育むことに対して旭3Sが少しでもお役に立てればよいと考えております。

教育委員会の宣伝になりますが、学校教育課で定期的に「学校教育課便り」を発行しているのですが、これは他の市町村ではなかなか例の無い取り組みであり、非常に学校の現場で役に立つ情報が掲載されております。また、市の広報において教育委員会独自の「学びのひろば旭」という紙面を設けていただき、市長に感謝申し上げます。これによりまして、教育委員会の取り組みが多くの方々に知ってもらえることができると思います。

このように市と教育委員会、そして旭3Sは旭市だけですので、官・民挙げて子どもたちの豊かな心、思いやりのある心を育てるための取り組みが進んでいることに対して教育委員の一人としてうれしく思っております。

・加藤委員長職務代理者

旭3Sについてですが、自分の子どもが小学校のときに3S活動に参加したのですが、3Sについて子どもに質問したら「知らない。先生がやれって言うから」との返事でした。これは「3S活動」にしても「スポーツこころのプロジェクト」にしても何を目的としているか子どもたちにうまく伝わっていない部分があるのかなと思っております。「スポーツこころのプロジェクト」も過去に活躍したアスリートの方たちがメインで活動されていると思うのですが、子どもたち世代ではわからないことが多いのではないかと思います。事前にアスリートの方たちの情報をもっと提供していただければ、もっと興味を持って臨めるのではないかなと、非常にもったいないなと思ったのが正直なところです。先程の説明にあったように、最後に子どもたちが書いた手紙に対して一人ずつに必ず後日返事が来ておりまして、息子も大切に取っております。せっかく実施するプロジェクトでありますので、何を目的とするかを子どもたちに明確に伝えていくことでより良い結果が得られ、意味のある活動になっていくと思

ます。

・石毛委員

旭3Sの取り組みに関しては、私も企業として今年度から支援をさせていただいております。海上中学校で花いっぱい運動の取り組みをされてまして、毎年、勤務先である郵便局にも花を持ってきていただき飾っております。この取り組みに賛同しまして、旭3Sへの支援を始めたわけではありますが、毎年実施しているためマンネリ化しているかなと感じられまして、子どもたちに何のためにこの取り組みをしているのかを原点に返って考えてみるのもいいのかなと思います。また、旭3Sの取り組みで第二中、共和小、琴田小、旭農業高校によりますコンサートが12月に東総文化会館で開催されまして行かせていただいたのですが、手づくり感もあり、久しぶりにとても感動いたしました。非常に良い取り組みをしているなと感じたところでもあります。

次に幼児教育に関してですが、子どもの一番の環境は両親であったり家庭であったりするわけで、親に対する教育が重要であると思います。情操教育やマナーについて教えられない家庭が増えていると思いますので、このような基本的な部分でサポートできる環境も必要であると思います。また、教育相談や言語発達相談などについてももっと相談しやすいサポート体制ができればいいなと考えております。

・鏑木委員

8月から教育委員となりまして、これまで11校の学校訪問をさせていただいたのですが、感じたことは、各学校とも非常に落ち着いていて、授業や生活に関する規範に対して意識が非常に高いと思いました。各学校とも議題の「豊かな人間性や道徳心をもった思いやりのある人を育みます」を意識して運営していると感じました。

また、旭市では「いきいきプラン」という学校裁量の予算があり、授業や生徒に合った取り組みを学校裁量で実施することができて現場では非常にありがたく思っております。今後とも是非続けていただければと思います。

次に図書館の関係ですが、現在の図書館は図書室・閲覧室が非常に狭い状況であるので、市庁舎の移転に合わせて対応を考えていただきたいと思います。

最後に、現在、親の価値観の多様化で学校にも苦情や相談が大変増えております。教育委員会におかれましては、これらの案件で学校から相談がありましたら親の言い分、学校の言い分をよく聞いていただいて、うまく解決の道筋をつけてあげられるように対応をお願いいたします。

・夢田教育長

4人の教育委員の皆様から意見をいただきましたが、学校訪問に行くと「旭市

の教育に関する大綱の重点目標」について各学校に徹底してきているなど感じる
ことができ大変うれしく思っております。

本日の議題である道徳心については、学校においては道徳教育ということで力
を入れているところですが、時間をかければいいというものではなく、様々な教
育活動を通して子どもたちの身に付くものであると思います。ところが、現在、
家庭の価値観が変わってきており、家庭教育の面で色々と問題がでており、学校
と家庭の両輪がうまくかみ合っていないのではと思うことがあります。学校も一
生懸命やっており、家庭の力も非常に大事であると思いますので、もう少し子ど
もたちに目を向けていただければと感じるところであります。

また、道徳心や思いやりを育むには人間関係が重要であり、子ども同士の人間
関係、教師と子どもとの人間関係がしっかりしていないと効果がでないと思いま
すので、学校も家庭も明るい雰囲気の中で勉強・成長していくことが大切である
と思います。

それと先程図書館の話も出ましたが、図書館司書にもっと頑張ってもらいたけれ
ばと思います。大変忙しいとは思いますが、図書館司書の役割は大変重要であり
まして本は人生の色々な指針となりうるもので読書指導の果たす役割はとても
大事であり、教育委員会としましても強化していかなければと思うものでありま
す。

・明智市長

事務局からの説明と委員の皆様の見解を聞かせていただきまして、旭市の教
育も密度のある濃い教育が施されていると思えました。また、教育委員の皆様
と総合教育会議の中で論じ合うことで現場に通じるものができるのかなど、こ
の機会をうれしく思うものであります。

すばらしい活動内容であります、ひとつ気になるのは、旭3Sにしても一部
の子どもたちは目標を持って元気に頑張ってくれていますが、参加をしていない
学校もあるわけです。参加するところは色々な活動に参加しているわけですので、
参加していないところも参加するように価値観を一緒にできるような方向に教
育委員会で作っていただければと思います。

また、図書館の問題ですが、県の東部図書館との兼ね合いもありますし、庁舎
の移転に合わせてしっかりと対応していきたいと考えております。

それと家庭教育学級の問題ですが、できるだけ大勢の皆様が参加できるような
形にしたいと思っておりますので検討していただきたいと思っております。

時間が当初の予定よりだいぶ超過しましたので、本日本日予定しておりました2つ
の議題のうち2つ目は次回の会議に回す事としまして、1つ目の議題につきまし
て意見交換を続けたいと思っております。

それでは、皆様から一通りご意見をいただきましたが、全体を通して更にご意
見があればお願いします。

・明智市長

委員の皆さんのご意見について、事務局の方で答えられることがありましたらお願いします。

・高木生涯学習課長

家庭教育学級の関係ですが、平成27年度の開催状況につきましては、全20校で合計2,161名の参加がございました。参加率につきましては、調べまして後日報告いたします。

・八木委員長

加藤委員からご質問がありましたが、旭3Sにつきまして教員への働きかけは色々やっているとありますが、肝心の子どもたちに向けてのアピールは不足していたと思います。事務局の中で検討していきたいと思います。

また、道德教育の充実についてですが、学校参観日における授業が道德であるケースが増えてきているようであります。保護者を巻き込んで学校での道德教育を見てもらい、共に考えていく体制が整いつつあり大変いい傾向であると思います。

・明智市長

私も色々な集まりに参加する機会があるのですが、全体的に地域を大事にする意識が高まってきているように感じます。このことをもう一歩進めて子どもの時から郷土に自信を持つ教育を進めることが必要であると思います。旭市は、現在、全国1800自治体の中で6番目の農業産出額があります。農業産出額は約514億円で千葉県ではダントツの1位であります。このようなことを子どもたちにも知ってもらい、そして旭市に誇りを持ってもらうことが必要なのかなと感じております。

・鏑木委員

農業の関係ですが、旭市には昔「椿の海」という湖があったのですが、これを干拓して農業用地としました。これは歴史上すばらしいことでありまして、このことが現在の農業産出額全国6位に繋がっていると思います。このあたりは小学校の授業でも触れていますが、旭市に対する愛着、先人の苦労なども学校で子どもたちに伝えていただけたらと思います。また、旭市出身で旭市のために貢献してくれた人物なども伝えていただき、多くの子どもたちが将来そのような人物になってもらえればと思います。

・明智市長

今「あさひ輝いた人々」の史料編さん事業を進めているところですが、進捗

状況はどうなっていますか。

- ・高木生涯学習課長

「あさひ輝いた人々」の史料編さんにつきましては、47ページで51人の人物について掲載する予定となっておりますが、現在、43ページ分の原稿が上がってきておりまして確認作業をしている状況です。

- ・加藤委員長職務代理者

今、受験シーズンに入りまして聞いた話なのですが、長欠だった生徒は出席日数不足により公立の高校には行けないため私立の高校になってしまうとの話でした。そこで、現状の長欠の中学生はどのくらいいるのか教えてください。

- ・石見学校教育課長

長欠というのは欠席日数が年間30日以上でありまして、平成27年度の状況では中学校においては73名、小学校においては25名となっております。この対策としまして、各学校とも長欠対策の委員会を設置しております。また、長欠は学力向上と共に大事なテーマでありますので、学校教育課としても重い課題と受け止めており、長欠担当を集めた研修会を開催したり、県及び市の指導主事が各学校を訪問して会議を行うなど様々な方面からこの問題の解決に向けて取り組んでおります。

7 閉 会

- ・明智市長

それでは予定の時間となりましたので、本日は活発なご意見ありがとうございました。すばらしい意見交換ができて、これからの旭の教育会議として定着して現場にも浸透できるような体制になると思います。これからも皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたりお疲れ様でした。